

町コミュニティバス事業計画

1. 町コミュニティバス運行ルート、バス停位置

町コミュニティバスの運行ルートについては、地域公共交通総合連携計画策定時に設定したルートを基本としており、

- ・中央循環ルート〔長屋くんコース（右回り）、左近くんコース（左回り）〕
- ・西山間ルート

の2ルートとしている。

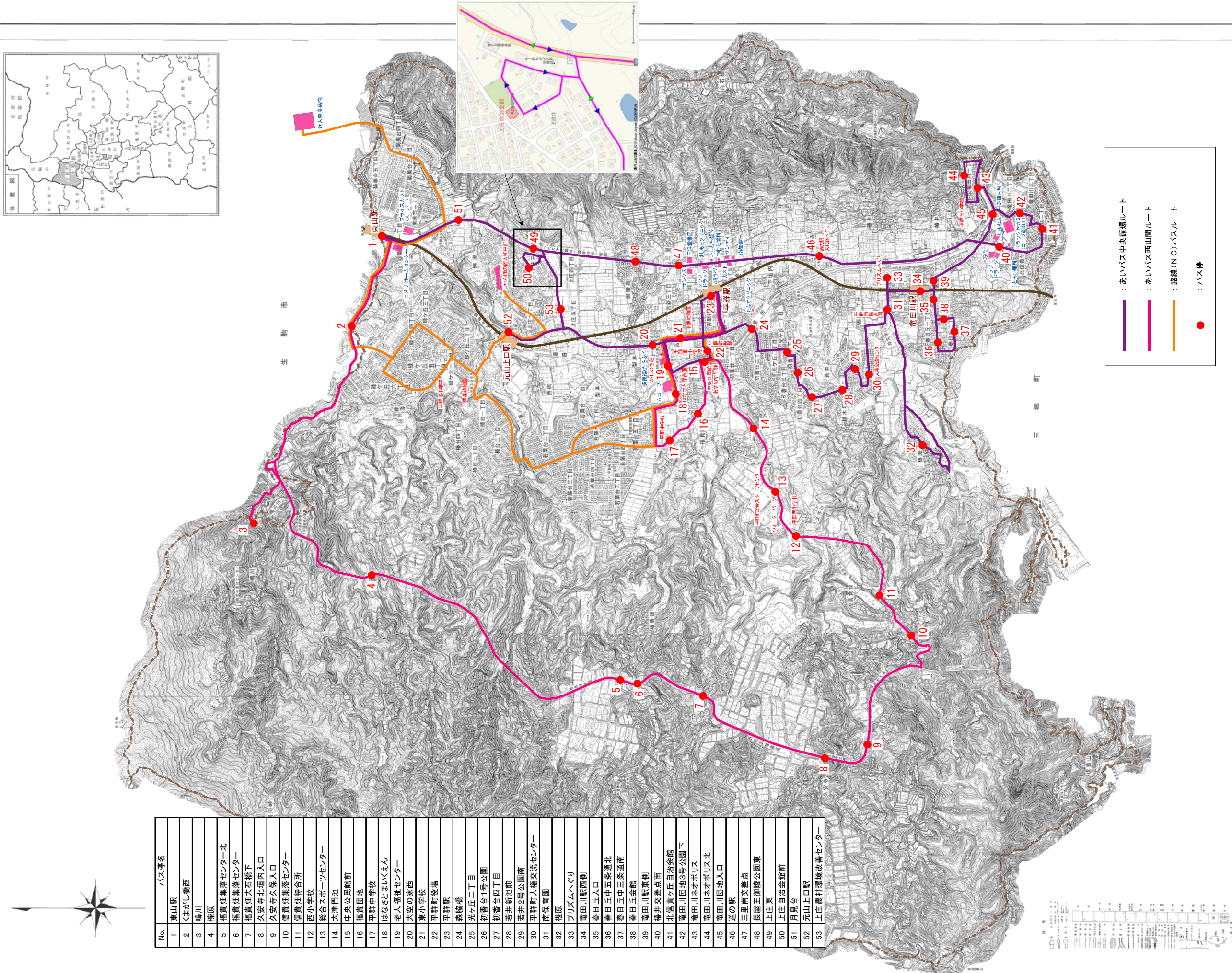
なお、中央循環ルートの上庄地区においては、上庄自治会館を通過するルートに一部ルートを変更している。

町コミュニティバス運行ルート図、バス停位置図を次頁に示す。

平群町全図

奈良県生駒郡

1:10,000



この図面は、平成27年9月現在の1:25,000の図面を縮小したものである。

1:10,000
0 500 1000

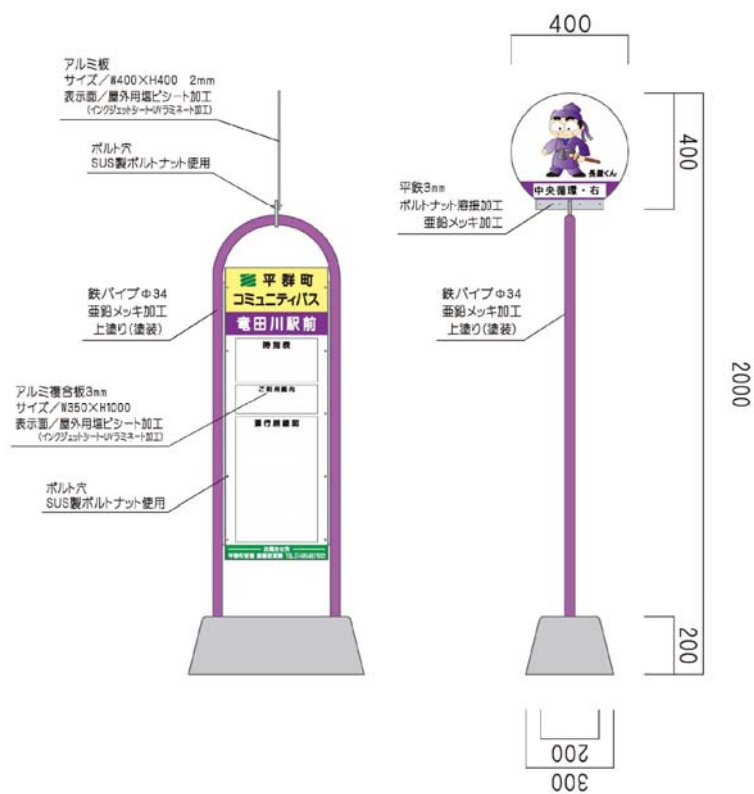
計画機関 平群町 作業機関 福田測量事務所

○バス停標柱のデザイン

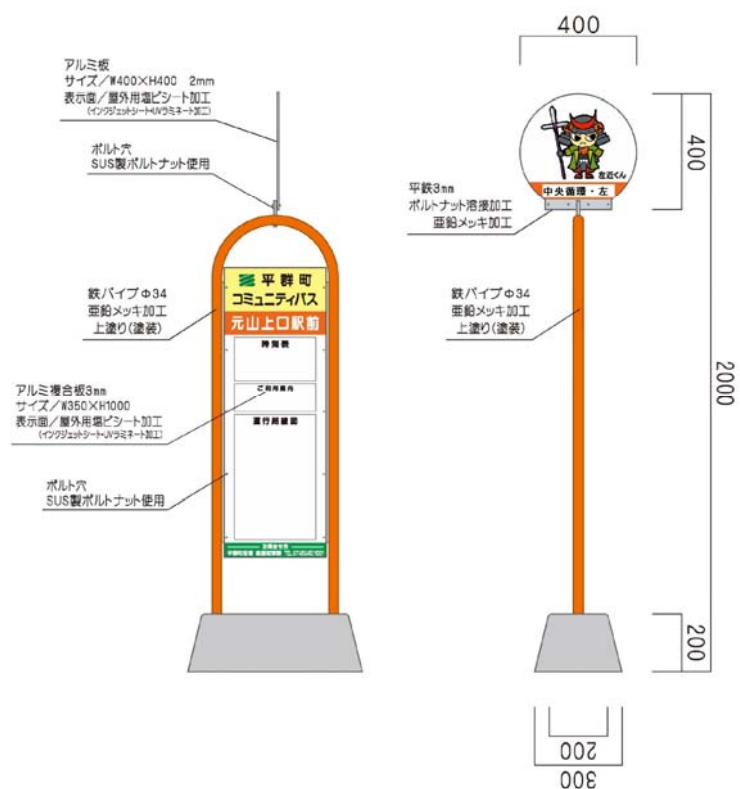
町コミュニティバスルートの変更に伴い、バス停においては新たな標柱を設置する。

以下に、バス停標柱のデザインを示す。

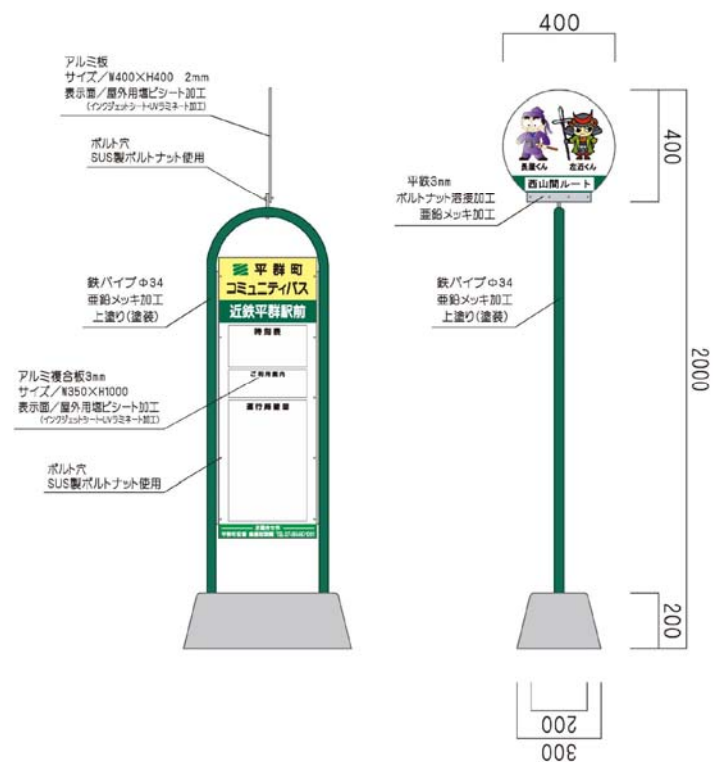
- ・中央循環ルート〔長屋くんコース（右回り）〕



- ・中央循環ルート〔左近くんコース（左回り）〕



・ 西山間ルート



2. バスダイヤ（案）

各ルートバスダイヤについては、最終調整中であるが、概要を以下に示す。

・中央循環ルート〔長屋くんコース（右回り）〕

運行ルート	便数	時間（調整中）	備考
東山駅～道の駅～平群駅 元山上口駅～東山駅	1日5便	8:20～16:40	・ 榎原地区へは1日3便の運行 ・ 1便あたりの運行時間：約80分

・中央循環ルート〔左近くんコース（左回り）〕

運行ルート	便数	時間（調整中）	備考
東山駅～元山上口駅～平群駅～道の駅～東山駅	1日5便	9:10～17:40	・ 榎原地区へは1日3便の運行 ・ 1便あたりの運行時間：約80分

・西山間ルート

運行ルート	便数	時間（調整中）	備考
（東山駅）～福貴畑集落センター～中央公民館前～平群駅	1日11便	7:50～17:30	・ 福貴畑集落センター～東山駅間は1日5便の運行 ・ 夕方の2便については、平群駅発福貴畑集落センター方面の片道運行 ・ 1便あたりの運行時間：約20分（福貴畑集落センター～平群駅） ・ 1便あたりの運行時間：約40分（東山駅～平群駅）

・中央循環ルート（土・日・祝日）

運行ルート	便数	時間（調整中）	備考
東山駅を発着駅とする右回りコースと左回りコースの交互運行	1日4便	9:00～16:50	・ 榎原地区へは毎便運行 ・ 1便あたりの運行時間：約80分

3. バス車両

町コミュニティバスのルート変更に伴い、バス車両を2台新規購入した。

○購入理由

- ・新ルートとなる中央循環ルートは、既存の南部ルートに加え、道の駅や平群バイパス沿いの商業施設、近鉄生駒線の各駅を接続するルートとなり、利用客の増加が見込まれる。
- ・現在南部ルートについては、ハイエースタイプのバスにより運行しており、定員は12人。
1便あたりの平均乗車人数は約8人であり、運行ルートが広がることで、利用者数はさらに増えると予想される。そうすると、現在のハイエースタイプのバスでは乗り切れない人が出てくる可能性がある。
- ・以上により、中央循環ルートにおけるバス運行にあたっては、マイクロバス（24人乗り）2台を導入し、運行に充てるものとしている。
- ・なお、運行ルートに関しては、購入するマイクロバス程度の大きさのバスによる試験運行を実施し、通行可能なことを確認している。
- ・西山間ルートについては、現在運行しているバスと同じものを使用する。

（1）車両のタイプ

日野自動車 リエッセⅡ LXタイプ（ショートボディ）

乗車定員 24名



（日野自動車ホームページより）

なお、『移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準を定める省令（国土交通省）』により、バス車両の構造・設備については車いす対応とすることが定められているが、今回購入するバスは、車いす対応車両とはしていない。以下に理由を示す。

■移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準を定める省令（条文の要約）

第 37 条（乗降口）

1：幅は、80cm 以上であること。

2：車いす使用者の乗降を円滑にする設備が備えられていること。

第 38 条（床面）

床面の地上面からの高さは、65cm 以下でなければならない。

第 39 条（車いすスペース） バス車両には、車いすスペースを 1 以上設けなければならない。

第 40 条（通路） 乗降口と車いすスペースとの間の通路の幅は、80cm 以上でなければならない。

車いす対応車両としていない理由

- ①車いす利用者の移動に関しては、平群町福祉有償運送サービス、外出支援サービス、移動支援事業で対応が可能である
 - ②コミュニティバスの停留所は、坂道のところも多く、車いすの安全な乗り降りが難しい
- 以上により、導入バス車両は、車いす対応ではなく通常タイプのバス車両としている。

（2）バス車両のデザイン

新規購入するバイパスルートを運行するバス車両については、平群町の史跡に関するイラスト、左近くん、長屋くんをレイアウトしたデザインとする。

なお、西山間ルートについては、現在と同じバス車両を使用する。